

新型コロナウイルス感染症対策に伴う
バドミントン活動ガイドライン
(競技大会実施にあたって)

令和2年 8月 1日

(令和3年 4月14日改訂)

茨城県高体連バドミントン専門部

<体調確認>

- ・大会関係者（会場内に入る人）すべての体調確認を行う。
- ・大会当日に検温を行い、健康チェックシート兼参加同意書（別紙）に押印の上、大会本部に提出する。
- ・大会前2週間以内に発熱や倦怠感などの体調不良の症状がみられた場合は、大会参加を見送る。
- ・大会関係者から感染者が発生した場合に備えて、個人情報の取扱いに十分注意した上、提出された健康チェックシート兼参加同意書（別紙）を1か月保管し、速やかに確認・提出可能な状態にしておく。
- ・棄権等する際は、会場に足を運ばずメール及び電話等で連絡する。
- ・入場時の検温や急な体調不良（発熱等）に対応して、接触せずに体温を計測できる体温計を用意する。

<人数制限>

- ・会場内に入場できる最大人数は、体育館の収容人数の50%を上限とする。
- ・人数には、大会に関わるすべての人（生徒、部活動顧問、外部コーチ等）が含まれるため、保護者等の観客の入場はなしとする。
- ・大会に出場しない生徒は、可能な限り会場に来ないことを原則とする。
- ・会場内への入場は、人数を区切り入場させる。（各校の来場時刻を分散させる）

<準備・片付け>

- ・当番校が行うものとし、最小人数で行うものとする。
- ・使用前並びに片付け時に、ネットやポスト等の消毒を行う。
- ・審判台、サービスジャッジ席、サービス高測定器は設置しない。
- ・コーチ席は1席設置する。
- ・コートサイドに用具カゴやドリンクケースの設置はしない。

<式典等>

- ・開・閉会式及び表彰式は行わない。
- ・諸注意を放送で行う。

<消毒>

- ・会場およびアリーナ入口に消毒液を用意し、入場する際は消毒を義務づける。
- ・コートのモップ掛けをゲーム毎と毎試合終了後に行う。
- ・毎試合終了後、線審席・コーチ席・得点板等を消毒する。

<換気>

- ・アリーナへの入口は常時開放する。(換気のみならず、ドアへの接触を防ぐため)
- ・遮光に配慮の上、施設内の換気設備の使用や可能な限り窓扉を開放して競技を行う。
- ・強風等の理由で窓やドアの開放が難しく、十分な換気ができない場合は競技を中断して換気を行う。

<飛沫防止>

- ・競技中の選手以外の大会関係者は、原則常時マスクまたはフェイスシールドを着用する。ただし、水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ・主審、線審、得点係は、マスクまたはフェイスシールドを着用して行う。ただし、水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ・主審のコールは極力避ける。「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」のみで行う。得点コールもしない。
- ・主審はサービスジャッジも兼務する。
- ・線審はハンドシグナルを出してコールはしない。
- ・応援は大きな声での声援を不可とする。
- ・応援はフィジカルディスタンスを確保して観客席で行う。移動や通路・手すりに捕まったりしながらの応援はしない。

<競技中の感染予防対策>

- ・呼吸困難や熱中症になるリスクがあるため、競技中のマスク使用については選手の判断に委ねる。
- ・ラケット等の用具は、各自持参したバッグ等に収容する。
- ・ラケット等の用具は、自身の物を使用する。やむを得ず、共用物を使用する時は使用前後に消毒をする。
- ・対戦前後の選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・トスはフィジカルディスタンスを確保して行う。
- ・シャトルの受け渡しは、手を極力使わずにラケットを使用する。
- ・汗は床に落とさず、自身のタオルで拭き取る。
- ・床の汗は、モップ等で拭き取る。(自身のタオルを使用して拭かない)
- ・シューズの裏を手で拭いたりしない。
- ・コーチングをする際は、選手と一定の距離を保ち必要最小限に短時間で行う。
- ・飲料をこぼした際は、モップ等で拭き取る。(自分のタオルを使用して拭かせない)
- ・ダブルスでは、コート内でパートナーとの会話や接触は極力避ける。
- ・競技中の選手も、必要以上の声は出さない。
- ・使用した着衣やゴミ等は、必ずビニール袋等に入れて各自で持ち帰る。

- ・主審の筆記用具等は、各自の物を使用する。
- ・勝者サインは主審が代筆し、必ず勝者に確認を行う。

<その他>

- ・各所で使用する物品（消毒液・遮蔽用具等）を事前に確認し準備する。施設側に確認の上、準備範囲を明確にする。
- ・靴箱の利用を禁止する。（下足は各自のビニール袋等に入れて自己管理をする）
- ・本部の設置は密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ・トーナメントやタイムテーブルの掲示は行わない。
- ・更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- ・会場内でのウォーミングアップは禁止とし、屋外でも人との十分な間隔を確保して行う。
- ・参加者の待機スペースは利用可能範囲を示し、使用場所を指定して移動を禁止する。
- ・選手招集所は設けない。
- ・食事は屋外で行う。天候不良時は場所を指定し、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。
- ・無観客で実施することが保護者等に伝わるよう、各校の顧問に周知徹底を図る。
- ・試合を行う選手及び審判以外は、アリーナに降りてこないように周知徹底をする。
- ・敗戦した学校は、すみやかに体育館から退去する。
- ・ゴミは各自で持ち帰り処理する。
- ・大会運営上発生したゴミは、マスク及び手袋を着用した上で回収し処理する。作業後は必ず手洗い消毒をする。

本ガイドラインは、公益財団法人日本バドミントン協会が作成した『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』（第2版令和3年2月8日）および『3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって』（第2版令和3年2月8日）に基づいて、本専門部において作成したものです。